

ルートは推測

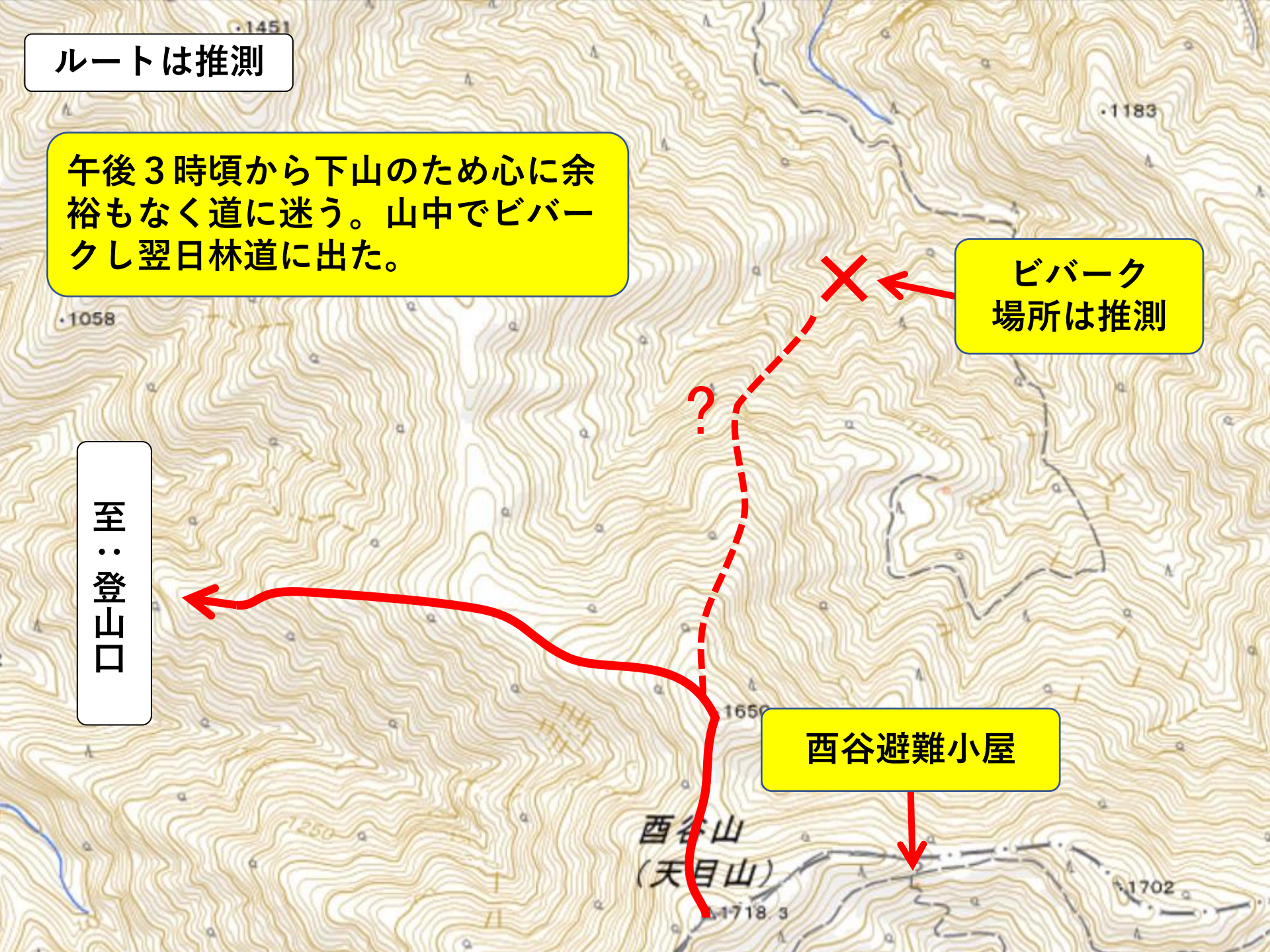
午後3時頃から下山のため心に余裕もなく道に迷う。山中でビバークし翌日林道に出た。

ビバーク
場所は推測

至：
登山口

西谷避難小屋

西谷山
(天目山)



日帰りの予定で、道の不明瞭な北西側から登る。なんとか山頂へは登れたものの、下山で北東側の沢へ道に迷う。下山の時間も午後3時頃から下山しただしたため心に余裕もなく、判断を誤り避難小屋で泊まらず山中でビバークすることになる。翌日早朝に沢を下り、滝壺にも入り、地滑りの多い斜面を下る。沢を下り始め約1時間後に林道に辿り着く。北側に伸びる尾根の北西側へ下る予定が、反対側（北東側）の沢に下ってしまった。（HP参照）

道迷い三大地形は「①下りの尾根分岐、②道が急に曲がる、③ピークからの下り」として私が勝手に位置づけ、注意喚起をしていますがこの事例は3つの要素がすべて入っているので特に注意が必要でした。

上記、地形のリスクに加えて、午後3時頃からの下山は心にゆとりがなく心理的なリスクも加わり道迷いの可能性が高まったのは必然でした。また、単独登山も更に拍車をかけました。

安全登山は基本を守ることです。「当たり前前のことを当たり前のようにやる」ことです。これが一番難しいですが私自身も肝に銘じます。